

令和6年度 三光幼稚園・保護者評価に関するアンケート結果（3.4.5歳児）

	評 価 項 目	内 容	とてもそう 思う（とても よい）	ややそう思 う（よい）	あまりそう 思わない （あまりよ くない）	そう思わな い（よくな い）	わからない
1	教育・保育の 目標	園は、教育目標「心身ともに健康で、個性の伸び伸びした、友達同士助け合う心優しい子どもに育てる」や、あすなろう精神（できないこともあきらめずに頑張ろうとする心）を軸に、教育・保育の実践に取り組んでいると思いますか？	72.5%	25.5%	1.5%	0%	0.5%
2	意欲	園は、教育方針「よい生活習慣や態度を身につけ、自主性を養い、知性を育て、色々な経験を通して心豊かにする」ことができるように、意欲的に教育・保育活動に取り組んでいると思いますか？	75%	24%	0%	1%	0%
3	研究・研修	保育教諭は、園内で決めたテーマに沿って保育研究を実施したり、月一回程度の園内研修や園外での研修会等に参加したりして、その成果を日頃の保育に活かせるよう努力しています。こうした取り組みについて、どう思われますか？	77.5%	19.5%	0.5%	0.5%	2%
4	組織力	園は、職員全員で子どもたちを見守り、協力し合って保育を行う“チーム保育”を大切にしています。子どもの保育や指導、支援などについて、全職員が連携したり協力したりしていると思いますか？	69.5%	25%	3.5%	0.5%	1.5%
5	安全環境	職員は、定期的に安全点検を行って、各保育室の清掃や整理整頓、感染予防などもこまめに行っています。全職員が、子どもたちが安心して、安全に過ごせるような環境作りに努力していると思いますか？	77.5%	20%	0.5%	0.5%	1.5%
6	指導の工夫・ 改善	保育教諭は、子どもたちが興味関心をもって遊びや活動ができるように環境を整備して、子どもたちが意欲的に取り組めるように工夫しながら、教育・保育の実践に努めていると思いますか？	76.5%	22%	0.5%	0%	1%
7	生活習慣の 指導	職員は、挨拶や正しい言葉遣い、立居振舞などを自ら遂行し、子どもの手本となるように努めています。職員は、良い生活習慣が身につくように関わっていると思いますか？	68.5%	28%	2.5%	0.5%	0.5%
8	信頼性・連携	職員は、できるだけ直接または電話、連絡帳等で保護者の方と話をし、家庭との連絡や情報の共有を行うように努めています。園（職員）は、気軽に相談できる体制をとっていると思いますか？	66%	27%	5%	1.5%	0.5%
9	園の公開	本園では、お便りや、ホームページ、フェイスブック等で個人情報保護を前提として、子どもたちの様子を適切に保護者の皆様に伝えられるように工夫しています。このような取り組みが、園の「見える化」につながっていると思われますか？	64%	29%	4.5%	0.5%	2%
10	身近な人々 との関わり	本園では、地域の公園や公共の施設を利用して、実際に出かける園外の活動を取り入れたり、大学や短大の学生、地域の人々と交流して遊ぶ機会を多くもてるようにしています。保育教諭は、多様な体験や人との関わり合いを通して、子どもたちによりよい教育・保育の機会を提供するように努力していると思いますか？	65%	30%	3.5%	0.5%	1%
11	体力の向上	保育教諭は、運動場やホールなどで子どもたちと一緒に走り回ったり、戸外遊びを楽しめるように推進しています。そのような関わりの中では、体を十分に動かして遊ぶ体験を多く取り入れ、子どもたちの体力の向上に努めていると思いますか？	74%	23.5%	1.5%	0%	1%
12	食育の推進	保育教諭は、野菜の栽培活動を行ったり、子どもたちが給食や食べ物に興味関心をもつよう食育指導の工夫をしたりしています。また、給食の栄養士より、栄養や食事のマナー等についての話を子どもたちに行ったり、調理体験など様々な食育の時間を設けています。職員は、「食育」の大切さを考えて保育に関わっていると思いますか？	84%	15%	0%	0%	0.5%
13	環境教育の 推進	保育教諭は、植物の栽培活動や小動物・虫の飼育を子どもたちと共に行って、命の大切さを考えたり、自然との関わりを楽しんだり、エコに関する話を保育の中に取り入れたりしています。保育教諭は、「環境教育」の大切さを考えて保育を行っていると思いますか？	77%	21.5%	0.5%	0%	1%
14	心身の推進 （道徳性等の 指導）	保育教諭は、子ども同士のトラブルや人を傷つけるような言動があった場合、子どもの意見や思いを聞きながら、子ども自身が納得した解決に努めています。また、異年齢の友達などに思いやりの気持ちをもてるような関わりに努めています。保育教諭は、規範（ルール）や自分も友達も大切にするなど、道徳性の芽生えを育てていると思いますか？	65.5%	30.5%	0.5%	0.5%	3%
15	幼保小の接続 <年長のみ 回答>	保育教諭は、子どもたちが進学する小学校を訪問し、情報交換や事務連絡等を行っています。また、年長児は、連携する小学校に出かける学校訪問や入学前の小学生との触れ合いの活動等に参加しています。園は、小学校生活に向けての準備や期待をもつような指導をしていると思いますか？	65.3%	24.2%	0.8%	0%	9.7%

令和6年度 三光幼稚園・保護者評価に関するアンケート結果（2歳児）

	評価項目	内 容	とてもそう 思う（とても よい）	ややそう思 う（よい）	あまりそう 思わない （あまりよ くない）	そう思わな い（よくな い）	わからない
1	教育・保育の 目標	園は、教育目標「心身ともに健康で、個性の伸び伸びした、友達同士助け合う心優しい子どもに育てる」や、あすなろう精神（できないこともあきらめずに頑張ろうとする心）を軸に、教育・保育の実践に取り組んでいると思いますか？	71.4%	25%	3.6%	0%	0%
2	意欲	園は、教育方針「よい生活習慣や態度を身につけ、自主性を養い、知性を育て、色々な経験を通して心豊かにする」ことができるように、意欲的に教育・保育活動に取り組んでいると思いますか？	71.4%	28.6%	0%	0%	0%
3	研究・研修	保育教諭は、園内で決めたテーマに沿って保育研究を実施したり、月一回程度の園内研修や園外での研修会等に参加したりして、その成果を日頃の保育に活かせるよう努力しています。こうした取り組みについて、どう思われますか？	78.6%	21.4%	0%	0%	0%
4	組織力	園は、職員全員で子どもたちを見守り、協力し合って保育を行う“チーム保育”を大切にしています。子どもの保育や指導、支援などについて、全職員が連携したり協力したりしていると思いますか？	82.1%	17.9%	0%	0%	0%
5	安全環境	職員は、定期的に安全点検を行って、各保育室の清掃や整理整頓、感染予防などもこまめに行っています。全職員が、子どもたちが安心して、安全に過ごせるような環境作りに努力していると思いますか？	71.4%	28.6%	0%	0%	0%
6	指導の工夫・ 改善	保育教諭は、子どもたちが興味関心をもって遊びや活動ができるように、子ども一人一人の発達を捉え、環境を整えています。子どもたちが意欲的に取り組めるように工夫しながら、教育・保育の実践に努めていると思いますか？	78.6%	17.9%	0%	3.6%	0%
7	生活習慣の 指導	保育教諭は、子ども一人一人の発達段階等を考慮し、身の回りを清潔にすること、衣服の着脱、食事、排泄など生活に必要な活動を進んで自分でできるように関わっていると思いますか？	82.1%	14.3%	0%	3.6%	0%
8	信頼性・連携	職員は、できるだけ直接または電話、連絡帳等で保護者の方と話をし、家庭との連絡や情報の共有を行うように努めています。園（職員）は、気軽に相談できる体制をとっていると思いますか？	78.6%	17.9%	0%	3.6%	0%
9	園の公開	本園では、お便りや、ホームページ、フェイスブック等で個人情報保護を前提として、子どもたちの様子を適切に保護者の皆様に伝えられるように工夫しています。このような取り組みが、園の「見える化」につながっていると思われますか？	71.4%	25%	0%	3.6%	0%
10	身近な人々 との関わり	本園では、地域の公園や公共の施設を利用して、実際に出かける園外の活動を取り入れたり、大学や短大の学生、地域の人々と交流して遊ぶ機会を多くもてるようにしています。保育教諭は、多様な体験や人との関わり合いを通して、子どもたちによりよい教育・保育の機会を提供するように努力していると思いますか？	64.3%	28.6%	3.6%	0%	3.6%
11	体力の向上	保育教諭は、運動場やホールなどで子どもたちと一緒に走り回ったり、戸外遊びを楽しめるように推進しています。そのような関わりの中では、体を十分に動かして遊ぶ体験を多く取り入れ、子どもたちの体力の向上に努めていると思いますか？	82.1%	17.9%	0%	0%	0%
12	食育の推進	保育教諭は、野菜の栽培活動を行ったり、子どもたちが給食や食べ物に興味関心をもつよう食育指導の工夫をしたりしています。また、給食の栄養士より、栄養や食事のマナー等についての話を子どもたちに行うなど様々な食育の時間を設けています。職員は、「食育」の大切さを考えて保育に関わっていると思いますか？	85.7%	14.3%	0%	0%	0%
13	環境教育の 推進	保育教諭は、植物の栽培活動や小動物・虫の飼育を子どもたちと共に行って、命の大切さを考えたり、自然との関わりを楽しんだりしています。保育教諭は、「環境教育」の大切さを考えて保育を行っていると思いますか？	78.6%	21.4%	0%	0%	0%
14	心身の推進(道 徳性等の指導)	保育教諭は、子ども一人一人に寄り添って、応答的な声掛け、スキンシップを図りながら信頼関係を築き、安心して生活できるように関わっていると思いますか？	82.1%	14.3%	3.6%	0%	0%

総合評価

回答率は、2歳児が93%（28/30）で3、4、5歳児が88%（200/227）であった。本園の特徴である教育については、とても良い、よいを合わせると、96%を超えており一定の信頼は得ていると思うが、「組織力、信頼性・連携、園の公開」については、5%以上があまりよくない、よくないと感じていることが分かった。幼保小の接続（年長児のみ回答）については10%以上が行われていると思っていないことも分かった。

2歳児が総合的に高いのは、身辺自立ができていない状況で入園し、保育者も多数（短時間含み）いることから、排泄や食事の自立が1年で達成される目に見えた効果が影響していると考えられる。一方、長時間保育が増えた3～5歳児の園児は、あすなろ棟へ移動した後は担任の加護から外れ学年ごとの保育になるため、個人別の発達支援や成長の過程が保護者に見えにくいことも影響していると考えられる。

次年度への課題・改善策

総合評価で見えてきた本園の課題である「園の公開や信頼性・連携」については、長時間保育児の急激な増加により長時間帯（午前中保育時は11:30～18:00、平常保育14:00～18:30）の職員構成や職員配置数については余裕がないことから、それぞれの家庭に対する個々の子どもの日々の成長や状況を報告できていないことが考えられる。担任からは連絡アプリに成長記録やエピソードのフィードバックがあるが合同時間帯では難しいのが現状である。

現在、長時間保育児は増加の一途であるため、今後認定こども園として、類型を幼稚園型から幼保連携型に移行する方向性も検討しながら、適切な規模で教育と保育、養護の行き届いた環境の整備を進めていくことが必要である。

「総合評価」「次年度への課題・改善策」に対する評価委員の意見

【第3者委員】

回答率が約9割と高く、保護者の園に対する関心の高さが窺える。その一方、約1割の未回答者の意向等が気になるところである。評価項目について、全般的に高評価であることから、教育・保育内容に関する保護者の理解が良好で、教育と保育及び養護が充実していることがわかる。課題として挙げられている低評価（5%以上）の項目「組織力」「信頼性・連携」「園の公開」の検討、整備に加え、「身近な人々との関わり」についてもその要因分析（活動内容の整理見直し、情報発信等の強化）が必要ではないだろうか。また、「幼保小の接続」についても、小学校生活に向けての準備や期待される指導の実行及び指導内容の見える化に関する確認、検証が必要ではないだろうか。各項目の検証を確実に行之、職員全体への周知と共通理解を深めた上で、日々の業務に取り組むことにより、保護者の理解及び子どもたちの心身の発達と園生活の充実が一層促進されることが期待できる。

【保護者代表】

幼稚園の教育内容については、子どもの主体性を尊重した活動が多く、先生方の温かいサポートもあり、子どもたちが自発的にのびのびと自己表現をできる環境が整っていると実感しております。また、園からのアプリを通じた情報提供や、ホームページにて公開の「みんなの広場」も丁寧で、行事の様子や日常の活動が見えるよう工夫されており、園と家庭の繋がりが保たれている点も感謝しております。今後、先生方との繋がりや、子どもたちの日々の成長や状況が窺える内容が増え、より親しみや信頼が増していくことを期待します。